

4 人材育成活動

□全分野共通

生涯学習まちづくりワークショップ in 滋賀

1. 趣旨

豊かで活力ある地域社会を実現していくためには、地域が持つ資源を最大限に生かした多面的で協調的なまちづくりが進められる必要がある。その際、「まちづくりは人づくり」といわれるように、まちづくりを担う人材の育成は、豊かな地域社会を構築する「鍵」となる。しかし、こうした人づくりは、これまで教育の分野あるいは産業・経済の分野等、それぞれの枠の中で行われてきた。そこで、今回、行政、大学等の教育機関、産業・経済界、市民・NPO等の関係者が一堂に会してそれぞれの枠を超えて語り合うことにより、より広い視野の中でそれぞれの人づくりのノウハウも生かしながら、新たな人づくシステムの構築を目指すことを目的としてワークショップを開催した。(2013年9月14日(土) 於:瀬田アーバンホテル)

2. ワークショップの内容

当日は、最初に神部純一滋賀大学社会連携研究センター教授より、ワークショップの趣旨と進め方の説明があり、続いて横山同センター准教授より、「問題提起」として人づくシステム構築に関する自治体の事例紹介などのあと、グループワークを行った。総勢43名の参加があり、7グループに分かれてのグループワークとなった。各グループには、滋賀大学社会連携研究センターの教員がアドバイザーとして一人ずつ加わったが、参加者の中から、進行役や発表者を決めていただき、進行役がリードしながら、参加者の皆さんの多様な意見を集約していくという形式で行われた。

グループワークでは、前半に、「地域を活性化する人づくりに、それぞれどう関わっているのか」「地域づくりを進めるには、どのような人材が必要だと思うのか」等を話し合い、後半には、前半の議論を踏まえて、「地域を活性化するための人づくりのためには、どんな仕組みがあればいいのか」「みんなが協力しあうと、どんな仕組みができるのか」等を話し合い、最後に具体的な提言案等議論をまとめ、全体会において各グループの代表により発表がなされた。

3. ワークショップの成果

各グループでは、参加者同士が初対面にもかかわらず、熱心な議論が展開され、具体的な提言に結び付けようという姿勢が見られた。参加者の感想でも「いろいろな職種の方々と話し合えて、有意義な時間が過ごせた」「行政、民間、学生等、異なる立場の方々が持っているスタンスや考え方に触れることが出来たのは収穫だった」等の意見がみられ、「多様な分野の人と人が知り合うきっかけをつくる」という、ワークショップの1つの目的は達成できたように思われる。しかし、一方で、今回のワークショップでは、細かくテーマを絞り込まず、自由な発想で議論をしてもらうことを重視した結果、「それぞれの思いを理解しながら、限られた時間の中でそれを具体的な形にしていくことは難しかった」との指摘もあった。このような指摘を踏まえ、今回のワークショップの成果をどう次につなげていくかが課題である。

末尾ながら、今回のワークショップに参加していただいた多くの市民、NPO、企業、行政関係者の方々、共催者として、当日のご挨拶ならびにご講評をいただいた文科省生涯学習政策局生涯学習推進課民間教育事業振興室長の楠目聖様、ご後援いただいた滋賀県教育委員会、滋賀県経済団体連合会の皆様に深く感謝を申し上げます。

(文責 准教授 横山 幸司)



【問題提起】



【グループワーク】



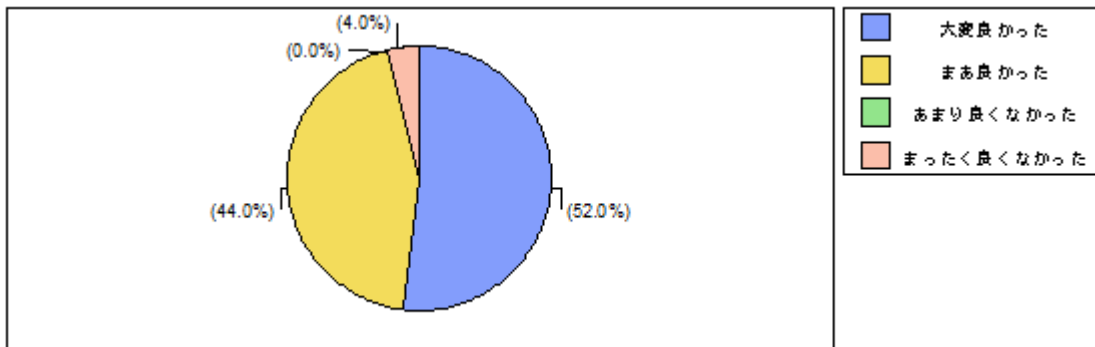
【議論のまとめ】



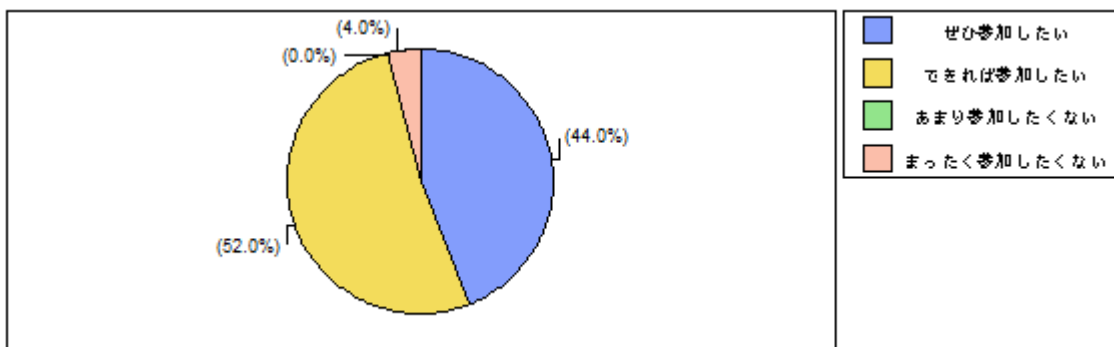
【提言発表】

4. 参加者アンケート結果

1. あなたはこのワークショップに参加していかがでしたか。



2. 次回また同じようなワークショップが開催されたら参加したいと思いますか。



(N=25)